

事業番号	381
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業概要	事務事業名	市民センター施設管理事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	味岡市民センター			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術		3 文化芸術団体などの連携拠点を整備する				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	2	大	7	中	2
	根拠法令・個別計画	小牧市公民館の設置及び管理に関する条例									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	100 %		委託	0 %		助成	0 %		
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	当センターが地域に密着した拠点としての機能を維持していくため、安全性、利便性などの面において適法および適切な施設管理を行っていく。									
	内容 (手段)	<p>【H23実施内容】 当センターを運営していくために必要な光熱水費等の支払事務を行い、維持管理上必要な設備等の修繕を行った。また、建物及び設備に関する業務委託や法定点検を実施し、必要に応じて是正措置を行った。</p> <p>【H23直接経費の内訳】 ・光熱水費 14,121千円（電気料金(7,541千円)、ガス料金(5,592千円)、水道料金(988千円)） ・修繕料 6,477千円（講堂用音響調整卓取替(3,455千円)、講堂スピーカー修理(840千円)外） ・施設管理委託 18,285千円（警備委託(3,232千円)、施設管理業務委託(6,258千円)、清掃委託(8,705千円)、グリストラップ清掃委託(90千円)） ・設備保守管理委託 1,950千円（自動扉保守管理委託(265千円)、自家用電気工作物保安管理委託(249千円)、消防用設備保守点検業務委託(378千円)、エレベーター保守管理委託(1,058千円)） ・舞台管理委託 11,675千円（舞台関係総合委託(4,637千円)、舞台担当技術員増員委託(3,441千円)、舞台照明設備保守管理委託(1,200千円)、舞台音響等設備保守管理委託(504千円)、舞台機構設備保守点検委託(1,470千円)、移動観覧席保守点検委託(423千円)） ・樹木管理委託 208千円 ・定期検査委託 703千円 特殊建築物等定期調査報告書及び建築設備等定期検査報告書作成業務委託(703千円) ・駐車場用地借上 4,158千円 ・観葉植物借上 187千円 ・玄関マット等借上 248千円 ・NHK受信料 57千円 ・下水道使用料720千円 ・備品購入費 84千円 ・消耗品費 457千円</p> <p>【その他財源の内訳】 ・公民館使用料 7,057千円 ・公民館使用料(行財目的外)419千円 ・消防職員駐車場利用負担金 318千円</p>									
受益者負担	公民館使用料										

コスト	費用			単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額
		直接経費		千円	57,286	54,740	59,330	60,626
正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50		
		人件費	千円	2,659	2,659	2,659	2,659	
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		人件費	千円	0	0	0	0	
費用合計		千円	59,945	57,399	61,989	63,285		
対前年比		%		95.7	107.9	102.0		
財源	一般財源	千円	52,178	50,573	54,195	56,031		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	7,767	6,826	7,794	7,254		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	清掃及び警備等日数 (開館日)	日	目標		357	357	356
実績				357	353	362	
昇降機保守点検	回	目標		12	12	12	12
		実績		12	12	12	
舞台照明、舞台音響及び舞台機構点検	回	目標		5	5	5	8
		実績		5	5	8	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	施設利用者件数	件	目標		4,013	3,900	3,900
実績				4,013	3,884	4,064	
施設利用者数	人	目標		133,748	120,000	120,000	120,000
		実績		133,748	105,573	117,196	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	当センターが機能を維持していくため、適法及び適切な施設管理を行った。維持管理上、必要な修理等を行った。
		事業実施における課題等	施設の設備等の老朽化
		事業を縮小・廃止したときの影響	施設管理が不十分となり、利用者に対し重大な事故を招く恐れがでる。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	平成8年建設以来、老朽化が目立つが、大規模な修理を行うことなく、維持管理を行っているため。	
	改善案等	施設の設備等の老朽化に伴い、修理等が必要となるが、極力、現設備で施設運営を行う。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。指定管理者制度の導入について検討されたい。